

環境活動レポート

(対象期間:2015年10月1日～2015年12月31日)



フジライズ株式会社

作成日: 2016年1月15日

目次

I. 組織の概要	...	P 1
II. 実施体制	...	P 2
III. 環境方針	...	P 3
IV. 環境目標	...	P 4
V. 環境活動計画	...	P 5
VI. 環境目標実績	...	P 6
VII. 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容	...	P 7
VIII. 当社の取り組み	...	P 8
IX. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果	...	P 9
X. 代表者による全体評価と見直し結果	...	P 10

【その他添付資料】

- ・ 環境上の緊急対策
- ・ 環境コミュニケーション受付表
- ・ 問題の是正及び予防処置

I 組織の概要

- 1) 事業者名 フジライズ株式会社
- 2) 代表者氏名 谷崎 和則
- 3) 所在地 本社： 静岡県三島市川原ヶ谷250番地の10
横浜営業所： 神奈川県横浜市中区花咲町1-2
リバーサイド桜木町202号室
- 4) 事業活動 管工事業 / 設備関連機器販売
- 5) 従業員数 11名
- 6) 環境管理責任者 一藤木 隆雄
連絡担当者 内田 久実
- 7) 連絡先 TEL (055)-976-0833
FAX (055)-976-0843
(E-mail: info@fujirise.co.jp)
- 8) 建設業許可
管工事業
静岡県知事許可（般一26）第035745号
有効期間：平成26年31日～平成31年8月30日

9) 事業の規模

① 設立(所在地) 1997年8月 資本金 2,500万円

② 事業規模

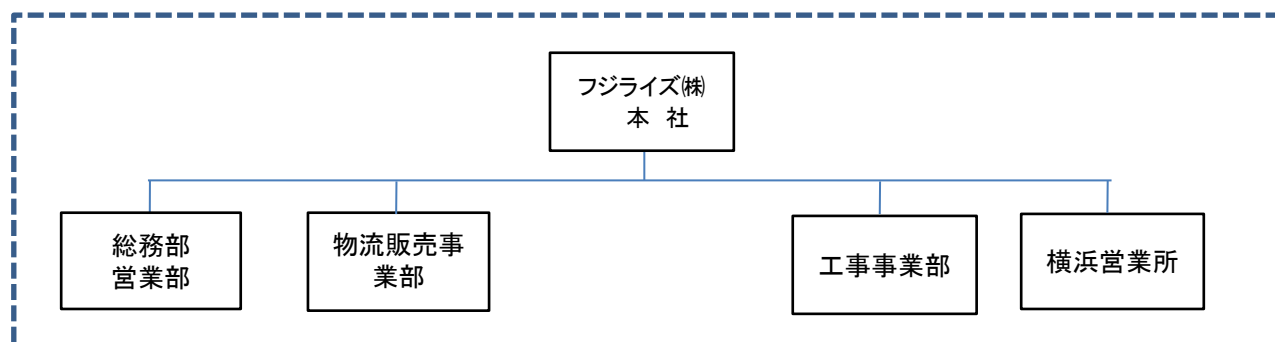
活動規模	単位	2014年
売上高	百万円	796百万円
従業員	人	11
事務所床面積	m ²	220.00
倉庫床面積	m ²	40.00

10) 事業年度

10月1日～翌年9月31日

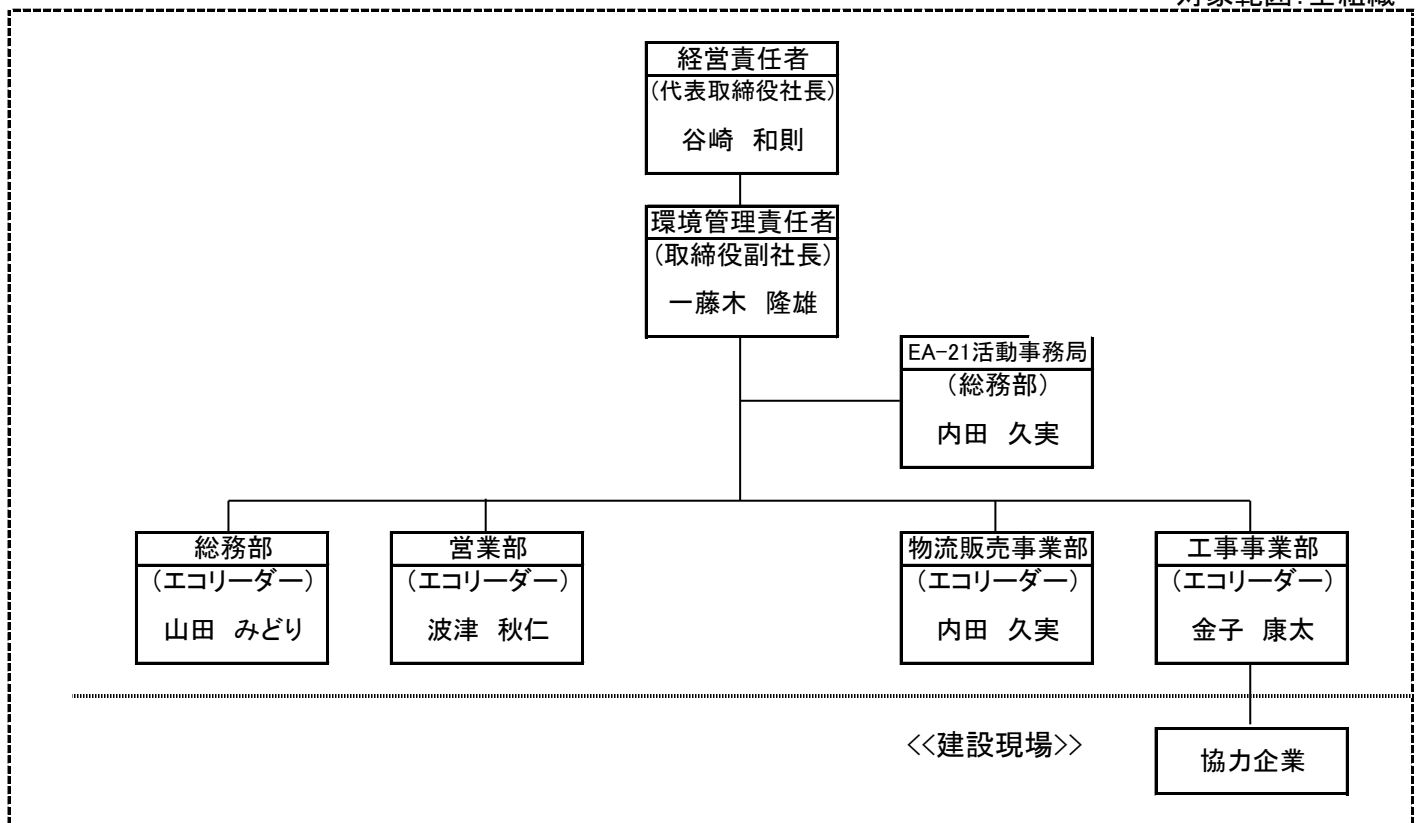
11) 認証・登録の対象範囲

活動： 全事業活動
対象組織：全組織



Ⅱ 実施体制

2015年10月1日 現在
対象範囲: 全組織



<環境管理組織における機能>

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境方針の作成と社員への周知
- ③全体の評価と見直し
- ④実施体制の構築

環境管理責任者

- ①環境経営活動の推進
- ②環境目標及び環境計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告

EA-21活動事務局

- ①各部門のデータのまとめ
- ②活動計画の予実績管理
- ③環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤法規制最新版管理
- ⑥文書・記録の管理

各部門

- ①環境計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席
- ⑤従業員教育

Ⅲ 環境方針

《企業理念》

我々は和と愛のもと、社会・文化・環境に責任ある企業として、調和のとれた発展を目指す日々、努力、反省、感謝を忘れず常に挑戦する精神を維持し、活気満ちる企業をめざします。

《環境方針》

1.事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進いたします。

- ① CO₂削減の為の省エネ活動に取り組みます。
- ② 廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
- ③ 水資源を有効活用し、節水に努めます。
- ④ グリーン商品の調達活動に取り組みます。
- ⑤ 建設工事は環境に配慮した工事を実施いたします。
- ⑥ 建設リサイクル法による適正処理をいたします。

2.環境に配慮した活動の目標を設定し、環境目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境管理システムを継続的に改善致します。

3.環境に関する法規制及び協定を遵守致します。

4.全社員が環境方針を理解し、それを周知徹底すると共に、この方針を掲示し社員教育を計画的に実施し、環境問題への意識向上を図ります。

5.環境にやさしい施工や工法を採用します。

制定年月日 2015年9月25日

フジライズ株式会社

代表取締役 谷崎 和則

IV 環境目標

2014年度実績

	項目	単位	2014年度		
			通年	10月～12月	
二酸化炭素	事業所及び倉庫での二酸化炭素削減	kg-CO ₂	41,884	10,471	
		購入電力	kWh	21,710	5,428
		ガソリン	L	13,085	3,271
廃棄物	一般廃棄物の削減	t	0.263	0.066	
	混合廃棄物の削減	t	33.1	8.3	
	産業廃棄物の再資源化	%	100	100	
水道使用量の削減		m ³	146.0	36.5	
事務用品のグリーン購入率向上		%	-	現状調査	
環境に関するクレーム		件	0	0	

短期・中期環境目標

購入電力二酸化炭素排出係数 東京電力(2014年度)の「0.53kg-CO₂/kWh」

	項目	単位	2014年度 基準年(実績)	2015年度 目標	2016年度 目標	2017年度 目標	
二酸化炭素	事業所及び倉庫での二酸化炭素削減	kg-CO ₂	41,884	-1%	-2%	-3%	
		購入電力	kWh	21,710	-1%	-2%	-3%
		ガソリン	L	13,085	-1%	-2%	-3%
廃棄物	一般廃棄物の削減	t	0.263	0.066	0.066	0.066	
	混合廃棄物の削減	t	33.1	8.3	8.3	8.3	
	産業廃棄物の再資源化	%	100	100	100	100	
水道使用量の削減		m ³	146	-2%	-3%	-4%	
事務用品のグリーン購入率向上		%	-	現状調査	+10%	+15%	
環境に関するクレーム		件	0	0	0	0	

V 環境活動計画

目的	区分	項目	活動項目	責任者	スケジュール			
					10月	11月	12月	
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	①夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る	内田			→	
			②使用頻度の低い場所の証明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する				→	
			③コピー機等のOA機器は、省電力設定する				→	
		空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	内田				→
			②使用していない部屋の空調は停止する				→	
			③ブラインド利用により、熱の出入りを調節する				→	
	その他	①自動販売機の省エネ対策	内田				→	
		②冷蔵庫の保冷対策		→				
	ガソリン・	乗用車	①エコドライブ	山田			→	
②エコ整備						→		
③日常・定期点検の実施						→		
④現場への資材運搬車の台数を減らす						→		
トラック			金子				→	

廃棄物のリサイクル	事務所	①コピー用紙の両面使用	内田	→		
		②集約化購買		→		
		③社内LAN等を利用しペーパーレス化を図る		→		
		④廃棄物の分別とリサイクル		→		
建設副産物のリサイクル	建設副産物のリサイクル	①廃棄物の分別化	波津	→		
節水	上水	①節水表示	内田	→		
		②水道配管からの漏水を定期的に点検する		→		
グリーン購入	事務用品 他	①環境ラベル対応品の購入	山田	→		
		②何回も使える物購入		→		
		③コピー用紙等再生紙を購入する		→		
	建設資材 設備	①環境負荷の少ない物品を調達する	波津	→		
地域貢献		①敷地内、屋上等の緑化		→		

VI 環境目標の実績

運用期間(10月～12月)実績

	項目	単位	2014年度 10月～12月	2015年度 10月～12月目標	2015年度 10月～12月実績	評価
二酸化炭素	事業所及び倉庫での 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	10,471	10,366	13042(+25%)	×
	購入電力	kWh	5,428	5,474	7,536(+28%)	×
	ガソリン	L	3,271	3,238	3897(+11%)	×
廃棄物	一般廃棄物の削減	kg	66	65.0	57(-2%)	○
	混合廃棄物の削減	t	8.3	8.2	8.2(-2%)	○
	産業廃棄物の再資源化	%	100	100	100.0	○
水道使用量の削減		m ³	37	36	19.5(-48%)	○
事務用品のグリーン購入率向上		%	-	現状把握	80.0	○
環境に関するクレーム		件	0	0	0	○

<原因分析・是正処理>

ガソリン	原因分析	仕事量の増加及び遠方の現場が多かったため
	是正処置	エコ運転の再教育の実施
電力	原因分析	遠方の現場の、短期借上社宅の電気量がプラスされた為
	是正処置	年間を通じ把握し是正の有無を確認する

Ⅶ 環境活動計画の取り組み結果とその評価 次年度の取り組み内容

目的	項目	活動項目	取組結果と評価		今後(次年度)の取組	
					内容	
二酸化炭素の削減	照明	①夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る	○	アナウンス→徹底されている	継続実施	
		②使用頻度の低い場所の証明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	○	実施された	継続実施	
		③コピー機等のOA機器は、省電力設定する	○	実施された	継続実施	
	空調	①温度設定夏28℃ 冬20℃	○	定例会議時説明	継続実施	
		②使用していない部屋の空調は停止する	○	実施された	継続実施	
		③ブラインド利用により、熱の出入りを調節する	○	実施された	継続実施	
	ガソリン	①エコドライブ	○	エコドライブカード配布	継続実施	
		②エコ整備	×	説明不十分により未実施	継続実施	
		③日常・定期点検の実施	△	日常点検マンネリ化	継続実施	
		④現場への資材運搬車の台数を減らす	○	実施された	継続実施	
	廃棄物のリサイクル	事務所	①コピー用紙の両面使用	○	徹底されている	継続実施
			②集約化購買	△	実施できる物品に対しては実施	継続実施
③社内LAN等を利用しペーパーレス化を図る			○	実施できる物品に対しては実施	継続実施	
④廃棄物の分別とリサイクル			△	一部導入	継続実施	
建設副産物リサイクル		①廃棄物の分別化	○	定例会議時説明	継続実施	
節水	上水	①節水表示	○	表示OK	継続実施	
		②水道配管からの漏水を定期的に点検する	×	取付が遅れている	継続実施	
グリーン購入	事務用品	①環境ラベル対応品の購入	○	実態調査	継続実施	
		②何回も使える物購入	○	ボールペン・他	継続実施	
		③コピー用紙等再生紙を購入する	○	実施された	継続実施	
	建設資材	①環境負荷の少ない物品を調達する	△	調査中	継続実施	
地域貢献		①敷地内、屋上等緑化	×	未実施、今後協議	継続実施	

VII 当社の取組み

◆社内注意書きで社員の意識づけ◆

(節電表示)



(節水表示)



(エアコン温度表示)



Ⅹ 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

確認者 内田 久実

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物処理業者との委託契約（第12条2）	契約（書）の締結	2016.01.15
	マニフェストの管理（第12条3）	B2、D票、E票の回収	2016.01.15
	マニフェストの期間内返却（第12条3）	90日以内または180日以内	2016.01.15
	マニフェストの保管（第12条3）	5年間	2016.01.15
	廃棄物の悪臭・飛散防止（第12条3～5項）	保管時には留意する	2016.01.15
	保管場所への掲示（第12条3～5項）	60cm×60cm 以上掲示	2016.02.15までに掲示
	マニフェストの年間集計と知事（政令市市長）への報告（規8条27）	6月30日までに提出	2016.01.22
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存（第10条）	優良企業者に依頼のため、現地確認必要なし	2016..1.15
三島市・横浜市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出		2016.01.15
建設リサイクル法	建設副産物のリサイクル（第5条、第10条）	工事計画書・実績報告	2016.01.15
			2016.01.15
騒音・振動規制法	特定作業規制（第11条、14条） 地域住民との取り交わし（県条例53条.52条）	指定地域・時間帯規制	2016.01.15
家電リサイクル法	指定家電の収集（第6条）	テレビ・冷蔵庫 他	対象なし
PCリサイクル法	OA機器の収集（第6条）	パソコン・モニタ 他	対象なし
環境基本法	一般的な自主努力（第8条）		2016.01.15
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置（第5条、第20条6）	自治体施策へ協力	2016.01.15
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力（第11条）	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	2016.01.15
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し（第5条、第8条）	リサイクル料金の支払い	対象なし
浄化槽法	浄化槽使用開始届け（第5条） 定期検査の実施（第11条） 保守点検の実施（第10条）	現事業所移転時	2016.01.15
		1年に1度	
		3ヶ月に1度	
建築基準法	基準の遵守 帳票による届出（第19条～68条）	登録と5年ごとの更新	2016.01.15
建設業法	事業者登録と更新 及び技術士設置（第5条）	登録と5年ごとの更新	2016.01.15

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

X 代表者による全体評価と見直し結果

作成 平成28年1月12日

1. 見直し 関連情報	項目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 電力・ガソリン使用量は未達
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙にて報告するようにします
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 別紙報告の通り
	8	その他()	<input type="checkbox"/>

2. 代表者による 全体評価・ 見直し指示	<p>仕事量の増加及び、遠距離工事が多かったため、二酸化炭素目標は、未達成となったが、</p> <p>活動としては、従業員に周知出来た。</p> <p>活動期間が3ヶ月と短く、月々仕事量のばらつきもあるので、年間を通じ集計し、是正の有無を判断したい。</p> <p>ガソリン使用量や、電力等は遠方の現場が多い場合には、必然的に増えることは、やむを得ないが今後改善案があるか、原因を分析し対応したい。</p> <p>EA-21活動事務局を中心に、社内アナウンスを周知徹底するとともに、社員の意識向上を促すようにする。</p> <p>促すように環境管理責任者に指示しました。</p> <p>環境方針・環境目標・活動計画については、そのまま継続する。</p> <p style="text-align: center;">2016年1月15日 フジライズ株式会社</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 谷崎 和則</p>			
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等	
	1	環境方針	有・無 <input checked="" type="radio"/>	
	2	環境目標	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	年間を通じて判断する
	3	環境活動計画	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	年間を通じて判断する
	4	環境に関する組織	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	5	その他のシステム要素	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
	6	その他(外部への対応)	有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	

環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

想定のパターン	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	産業廃棄物置き場における飛散	強風による飛散	飛散物の回収 飛散防止カバー取付
パターン 2			

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
2015.12.25	廃棄物の飛散	強風	飛散物の回収 飛散防止カバーの取付
参加者	全社員		
※評価と改善策			
対応手順通り対応出来た。次回は緊急事態の想定を見直したい。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
参加者			

環境コミュニケーション受付表

作成・管理担当：内田 久実

NO.	情報 日 入手	情報 種 類	通報者	通報方法	住所	内容	回答の 必要性	対応内容
					連絡先			
1	/	対策・苦情		電話・メール ()		クレームなし	必要・不要	
2	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
3	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
4	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	
5	/	対策・苦情		電話・メール ()			必要・不要	

問題の是正及び予防処置

記録日 2016.01.8
担当者

	対象項目	原因	是正及び予防処置
1	電力量目標未達	短期借上げ社宅で使用のため	年間を通じ使用量を確認し、是正の有無を判断する
2	ガソリン使用目標未達	仕事量の増加及び遠方の現場増のため	エコ運転の再教育の実施
3			
4			
5			